



平成 29 年 2 月 10 日

各位

上場会社名 ボーソー油脂株式会社
代表者 代表取締役社長 片岡 治男
 (コード番号 2608)
問合せ責任者 執行役員管理本部長兼企画経理部長
 川崎 薫
(TEL 047-433-5552)

特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)において、下記の通り特別損失を計上することとなりましたので、お知らせいたします。また、昨年 5 月 12 日付にて開示しました、平成 29 年 3 月期連結業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせします。

記

1. 特別損失の計上

昨年 11 月 22 日に開示いたしました、当社連結子会社である東京油脂工業株式会社の固定資産譲渡(工場敷地売却)による引渡しは翌会計年度に予定しておりますが、その際に発生いたします固定資産解体前の残留物除去ならびに洗浄にかかる費用 100 百万円を撤去費用引当金繰入額として特別損失に計上いたします。

2. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	18,000	190	190	100	6 円 34 銭
今回修正予想 (B)	16,800	60	50	1,790	118 円 40 銭
増減額 (B - A)	△1,200	△130	△140	1,690	
増減率 (%)	△6.7	△68.4	△73.7	—	
(ご参考) 前年実績 (平成 28 年 3 月期)	19,301	57	50	15	0 円 96 銭

修正の理由

(1)営業利益、経常利益

当第3四半期後半から為替が円安に一転したことにより、第4四半期の海外原料調達コストが上昇することに加えて、足下の需給バランスにより、業務用食用油の価格下押し圧力が依然強く、価格への転嫁も厳しく、採算性の悪化を見込むことから、営業利益ならびに経常利益は、当初予想を下回る見通しとなりました。

(2)親会社株主に帰属する当期純利益

上記1. 特別損失の計上により記載の通り、昨年11月22日に締結しました当社連結子会社の固定資産譲渡による売却益2,678百万円に対して、特別損失100百万円を計上することに加えて、上記(1)記載の営業利益、経常利益の減少を見込むことから、親会社株主に帰属する当期純利益は、当初予想より1,690百万円上回る見込みとなりました。

以上